

ちとせだより

令和6年冬号

当事業所では「ちとせで元気になれる ちとせで楽しくなれる」をテーマに季節感を味わって頂きながら、ご利用者の楽しみや日々の活力に繋がるような様々な行事やレクリエーションを催しております。また集団体操や日常動作の訓練を行ない、日常生活における動作、体力の維持に努めております。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、ようやく外出行事等を再開出来る状況となりました。まだまだ制限はありますがコロナ禍以前のかつての活気ある日常を取り戻せるよう、明るく元気に楽しんで頂けるサービス提供に努め、笑顔で元気に過ごせるようご利用者に寄り添って歩んでまいります。

2月豆まき 『鬼は～外！ 福は～内!!』2月に季節行事の豆まきを行ないました。鬼に豆を投げつけるのは魔の目（魔目＝まめ）に豆を投げつけて魔を滅する（魔滅＝まめ）に通じるということが由来だそうです。ご利用者の本気に堪らず鬼も退散



心のこもったサービスを身近なところからはじめます

1月書き初め お正月に書き初めをしました。書き初めは平安時代の宮中行事が起源で、元日の朝に初めて汲んだ水で墨をすり、新年の縁起のよい方向に向かって祝賀や詩歌を書いていたことに由来するようです。ご利用者に筆を持たせたら鉛筆代では敵いっこありません。



団子刺し 小正月に東北地方の伝統行事である団子刺しをしました。団子の木は仏の世界の道端の草木を表し、豊かにみどり生活が楽になるといので、早くそのような世が来ることを願いとされたのが由来と伝えられています。みず木の新芽を欠いた枝に紙粘土で作った色とりどりの団子を刺し、ホールや玄関に飾って家内安全や無病息災を祈りました。



今年も色鮮やかでステキな団子刺しが出来ました～♡

12月 クリスマス会

12月はクリスマスツリーに飾り付けをし、24日はクリスマス会を開催して職員による絵本の読み聞かせ、紙人形劇やみんなでクリスマスソングを歌い、心温まる笑顔で楽しいひと時を過ごしました。



餅つき

12月28日に毎年恒例の餅つきを行い鏡餅を作りました。鏡餅は新年の神様である「年神様」の依り代として、お正月には欠かせません。普段足腰が痛いご利用者様も餅に関してはスペシャリスト、この日ばかりははりきって餅つきに参加されました。年神様をちとせに迎えて、新しい年の幸福や恵みをご利用者と一緒に祈りました。



もちつき



お楽しみ会

年末に向けて忘年会として、一年の最後を楽しく過ごしていただくためお楽しみ会を開催しました。豪華景品をかけたビンゴゲームをして大盛り上がり。来年もご利用者様のとびきりの笑顔が見られるよう、みんなで楽しく過ごしました。



慰問(小林雑歌店様)

年末のちとせの営業最終日に、元職員でちとせの管理者も務められた小林順一郎さん率いる、『小林雑歌店』様が慰問に来てくださりました。昭和や平成の名曲や民謡を、歌と演奏で披露され、大いに盛り上がりました。元気をもらって今年一年を締めくくる良い一日となりました。m(_)_m



ご利用者様が住み慣れた地域で、安心して元気に楽しい時間をゆっくりと過ごしていただける事業所を目指しています。ご利用されたい方は担当のケアマネージャー、もしくは当施設までご連絡ください。皆さまのご利用を職員一同、心よりお待ちしております。

